



2026年6月1日

各位

会社名 株式会社 QD レーザ  
代表者名 代表取締役社長 大久保 潔  
(コード番号：6613 東証グロース)  
問合せ先 常務執行役員経営企画室長 武政 敬三  
(TEL. 045-900-6905)

## TDK 株式会社との網膜投影技術による XR グラス向け光学エンジンの事業協力 及び特別利益の発生に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、TDK 株式会社（以下、「TDK」）と、当社が保有する網膜投影技術を用いた XR グラス向け次世代 RGB 光源モジュールおよび光学エンジンの共同開発ならびに、同技術に関する特許権の一部の TDK への移転を含む事業協力契約（以下「本契約」）を締結することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業協力の背景と目的

XR グラスは消費者向けの新しい情報機器として注目されており、最近では米国を中心に AI グラスなどの新しいコンセプトによる製品の市場が大きく成長しています。当社が開発した網膜投影技術は、微弱なレーザー光を用いて網膜に直接映像を投影する技術であり、XR グラスに搭載される小型ディスプレイに求められる「小型化」、「低消費電力化」、「ピントフリー」などの点において、他のディスプレイ方式に対して優位性を有しております。今後、XR グラス市場の成長に伴い、急速な需要の拡大が期待されています。

本契約に基づく当社と TDK の事業協力により、当社が培ってきた独自の網膜投影技術および特許群と、TDK が有する高度な RGB モジュールの開発・製造技術を融合いたします。これにより XR グラス向けの次世代 RGB 光源モジュールおよび光学エンジンの開発を加速すると共に、網膜投影技術を用いた光学エンジンの次世代 XR グラスサプライヤーへの早期普及を図り、XR グラス市場の急速な成長・拡大への対応を進めます。

#### 2. 事業協力の概要

##### (1) 共同開発の実施

両社は、これまでの協力関係をさらに発展させ、本契約により開発を一層加速させ、XR グラス向けの RGB 光源モジュールおよび光学エンジンの共同開発を継続して実施いたします。

##### (2) 特許の活用に関する取り組み

当社は TDK に対し、網膜投影技術に関する特許の一部について権利移転を行い、両社の連携による当該技術のさらなる普及と活用の促進を図ります。また、当社は引き続き、ビジョンサポート（福祉）、ヘルスケア、医療などの分野において、当該特許を活用し、ユーザーのニーズに応える製品およびサービスの開発と発展に取り組んでまいります。

##### (3) 技術支援

当社は、TDK との人材交流を通じて、光学設計、電気設計、映像システム設計および安全基準（アイセーフティ）などに関する TDK 内での包括的な技術醸成に寄与するとともに、量産体制の構築を支援いたします。

#### 3. 両社での今後の展開

両社は、本契約に基づく共同開発を推進し、試作機の評価、ビジネスモデルの検討、および展示を通じた市場開拓を共同で推進してまいります。早期の量産化を視野に、スマートグラスメーカー各社に向けた光学エンジンの提供を進めることで、XR グラス市場でのさらなる成長機会の獲得を進めてまいります。

#### 4. 当社独自の今後の活動

当社は、ビジョンサポート（福祉）、ヘルスケア、医療分野において、網膜投影技術を引き続き活用し、製品およびサービスの開発に取り組んでまいります。また、当社が保有する光学設計および半導体レーザ技術も活用し、今後も事業領域の拡大に向けて、顧客およびアプリケーションの開拓を進めてまいります。

#### 5. 本契約の相手先の概要

(1)	名 称	TDK 株式会社		
(2)	所 在 地	東京都中央区日本橋二丁目 5 番 1 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 CEO 齋藤 昇		
(4)	事 業 内 容	電子部品・デバイスおよび関連機器の製造・販売		
(5)	資 本 金	32,641 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1935 年 12 月 7 日		
(7)	大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	26.89%	
		株式会社日本カストディ銀行（信託口）	12.67%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当する事項はありません。	
		人 的 関 係	該当する事項はありません。	
		取 引 関 係	当社は当該会社より開発業務を受託する取引関係があります。	
		関連当事者への該当状況	該当する事項はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 3 月期
	資 本 合 計	1,714,941 百万円	1,811,254 百万円	2,203,545 百万円
	資 産 合 計	3,415,304 百万円	3,541,415 百万円	4,415,175 百万円
	売 上 高	2,103,876 百万円	2,204,806 百万円	2,504,820 百万円
	営 業 利 益	172,893 百万円	224,192 百万円	272,415 百万円
	親会社の所有者に帰属する当期純利益	124,687 百万円	167,161 百万円	195,663 百万円

#### 6. 業績に与える影響

本契約の締結により、2027 年 3 月期において特許権の一部譲渡による収入約 5 億円を当事業年度の特別利益に計上する予定であり、当該特別利益計上後の業績に関しては、本日公表の「2027 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

以 上